

やなぎがくえん こぶん  
柳学園の古墳

所在地：洲本市 下加茂



古墳庭園 出典：学校法人柳学園高等学校HP

洲本市下加茂の丘陵上にある私立柳学園の敷地内には、約1400年前に造られた下加茂岡古墳があります。直径10m、高さ2mの円墳で、洲本川流域の有力者の墓と考えられています。古墳の棺は緑色片岩という石を組み合わせた箱型の石棺で、この石は淡路島には無く、紀ノ川（和歌山県）から運んできたと考えられています。

下加茂岡古墳は平成10年に洲本市教育委員会による発掘調査が行われ、平成12年に柳学園が復元と整備、周辺の庭園化を行い「古墳庭園」と名付けられました。現在は貴重な資料として、また学園内の憩いの場として活用されています。同学園敷地内には弥生式住居跡も発見されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICを下車し、県道125号線から県道46号線へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図